

第50回衆院総選挙

# 自民2勝、立憲1勝



当選を確実なものとし、万歳三唱する県2区の高市早苗氏

# 奈良政経新聞

2024年(令和6年)

10月28日  
月曜日

発行所

奈良政経新聞株式会社

〒634-0072  
奈良県橿原市醍醐町118-14  
TEL.0744-47-3344  
FAX.0744-48-3338  
info@naraseikei-np.com  
www.naraseikei-np.com

新聞購読の  
お申し込みは  
こちらから



# 号外

第50回衆院総選挙は27日投票開票され、2区は自民党の高市早苗氏が、3区は自民党の田野瀬太道氏が投票が締め切られた午後8時に当選確実を決めた。自民は裏金問題に端を発する逆風戦になり、激戦区の1区は「政権交代」を訴えた立憲民主党の馬淵澄夫氏が制した。県内は自民が2勝、立憲が1勝。一方これまで勢力を伸ばしてきた日本維新は今選で苦戦を強いられ、全区で後退の情勢。

## 1区小林氏は復活に望み 維新は全区で後退の情勢

先の総裁選に出馬した決選投票で惜敗した2区の高市早苗氏は選挙中、苦戦が伝えられる他選挙区へ計130回以上の応援行脚に回り、自身の選挙区にはなかなか入れない状況が続いた。しかし盤石の戦いぶりですぐに当選を決めた。

斑鳩町法隆寺東に構えた高市氏の選挙事務所では午後8時、当選確実の知らせが入ると、駆けつけた近隣首長や自民党県議、支援者の歓声で沸いた。

万歳三唱の後、高市氏はこの12日間の選挙戦の中でほんの数時間しか選挙区に入らなかったが、その代わりに多くの皆さんが戦っていたので、2区の議席を守ってください。一生懸命、選挙中に各地で訴えてきた政策を一つでも実現できるように精一杯、働かせていただきたいと思います。と妙な面持ちで述べた。

また今後の具体的政策については「自民党が与党であったなら、という仮定ですが、これから年末の予算編成で強い経済を作る政策を推し進めたい」と語った。

馬淵、小林の両氏で毎回接戦になる1区は、自民への逆風を追い風に、立憲の馬淵氏が制した。日付が変

制した。立憲支持層だけでなく無党派層を取り込み、票を積み上げた。前回選に続き馬淵氏が連勝。

対する自民の小林氏は、保守層と公明党支持層を固め、組織戦を展開し、選挙終盤は保守層に人気がある高市氏が応援演説に入り、保守層のさらなる票固めを図ったが届かなかった。小林氏は比例復活に望みをつなぎ、開票を見守る。

奈良市学園北の馬淵氏の事務所では、早くに複数の全国紙が打った「当確」に支持者らが歓喜したが、NHKの当確を待つ状況に、日付が変

保守地盤が強い県3区は、自民の田野瀬太道氏が終始安定した盤石の戦いを見せ、開票が



支援者らと当選確実を喜ぶ県1区のマ淵澄夫氏

締め切られた午後8時、早々に当選を確実なものにし、支持者らと逆風の中でつかんだ勝利を祝した。

一方、苦戦が伝えられていた維新は選挙終盤、1区、2区で支持が広がらず「3区だけに比例復活の可能性が残る」と判断。22日には、共同代表の吉村洋文大阪府知事が県3区入りしてテコ入れし、大和高田市や橿原市で支持を訴えた。

しかし28日午前0時現在、県3区の維新の原山大亮氏は、得票率22・3%にとどまり、田野瀬氏に圧倒されている。比例復活に望みがかかるが厳しい状況が続いている。

県内で維新は逆風の自民の受け皿になれず、前回選から大きく後退した形。